

3 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成 17 年の死亡数は、8,556 人で前年の 8,212 人より 344 人増加し、死亡率（人口千対）は 11.6 で前年の 11.0 より 0.6 上昇した。

死亡率の年次推移をみると、戦後急速に低下していったが昭和 30 年代半ばから低下傾向が緩やかになり、昭和 63 年からは人口の高齢化に伴って再び上昇し始め、上昇の傾向をたどり続けた。年齢別に見ると、表 3 のとおりである。

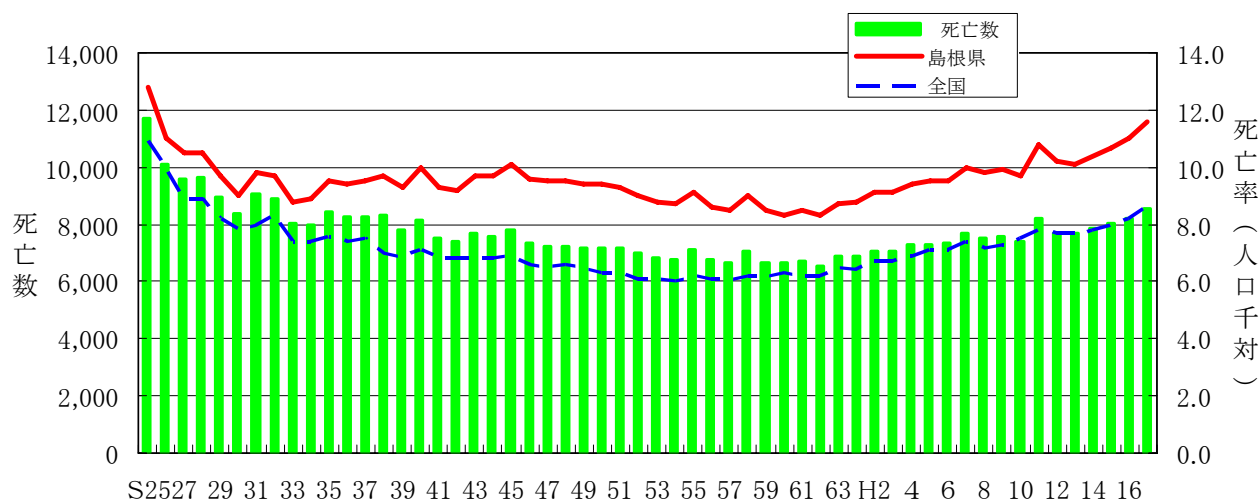
表 3 年齢（5 歳階級）別死亡数・死亡率（人口 10 万対）・死亡率性比

年齢階級	死亡数			死亡率			死亡率性比
	平成17年	平成16年	対前年増減	平成17年	平成16年	対前年増減	
総数	8,556	8,212	344	1,156.2	1,096.2	60.1	123.8
0～4	22	28	▲ 6	71.1	88.1	▲ 17.0	168.1
5～9	4	5	▲ 1	12.0	14.8	▲ 2.9	0.0
10～14	5	5	0	13.7	13.4	0.3	64.0
15～19	15	14	1	36.8	33.1	3.7	622.0
20～24	21	16	5	60.2	47.1	13.1	420.0
25～29	17	18	▲ 1	47.2	46.2	1.0	234.4
30～34	25	40	▲ 15	56.3	91.5	▲ 35.2	172.8
35～39	32	43	▲ 11	82.4	111.1	▲ 28.7	254.7
40～44	45	48	▲ 3	110.9	116.0	▲ 5.2	140.2
45～49	85	105	▲ 20	186.7	225.4	▲ 38.7	179.1
50～54	188	184	4	352.8	325.8	26.9	319.0
55～59	306	283	23	501.5	499.7	1.8	257.9
60～64	355	364	▲ 9	759.1	768.7	▲ 9.6	245.8
65～69	501	512	▲ 11	1,089.3	1,067.2	22.1	275.8
70～74	871	810	61	1,739.2	1,612.6	126.6	243.7
75～79	1,224	1,143	81	2,752.7	2,589.4	163.2	260.8
80～84	1,452	1,386	66	4,591.9	4,529.0	62.9	218.6
85～89	1,519	1,479	40	8,515.5	8,879.7	▲ 364.2	177.1
90 歳以上	1,868	1,729	139	17,196.0	16,213.4	982.6	152.0

注(1):死亡率性比＝男性の死亡率／女性の死亡率×100

(2)総数には年齢不詳を含む。

図4 死亡数・死亡率の年次推移



(2) 死因

①死因順位

平成17年の死亡数を死因順位別に見ると、第1位は悪性新生物で2,467人、(人口10万対死亡率333.4)、第2位は心疾患で1,374人(死亡率185.7)、第3位は脳血管疾患で1,005人(死亡率135.8)となっている。(表4)

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物は年々徐々に上昇し、昭和59年には脳血管疾患を抜いて死亡原因の第1位になり現在に至っている。脳血管疾患の死亡率は低下傾向にあり、平成12年からは第3位に下がった。不慮の事故、老衰、自殺については横ばいになっている。(図5)

図5 主要死因の死亡率の年次推移

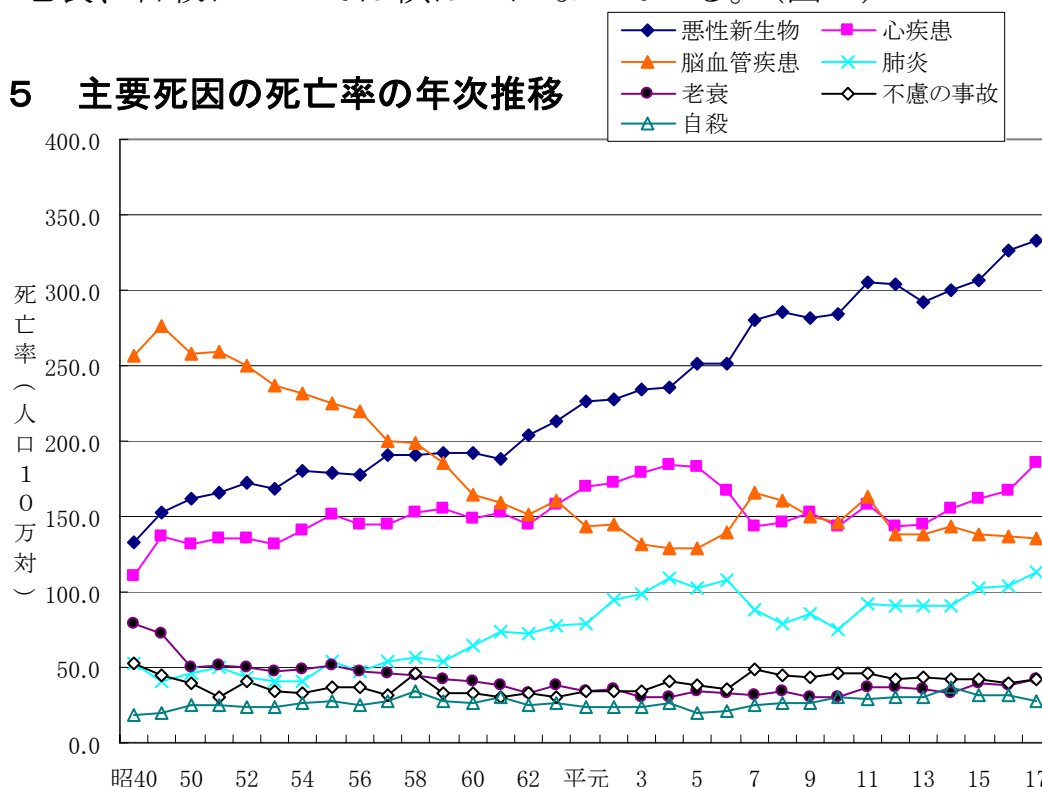


表4 死亡数・死亡率（人口10万対）・死因順位；性別

死 因	平成17年									平成16年		
	総数			男性			女性			総数		
	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率
悪性新生物	1	2,467	333.4	1	1,488	421.5	1	979	253.0	1	2426	326.1
心疾患(高血圧性を除く)	2	1,374	185.7	2	619	175.4	2	755	195.1	2	1247	167.6
脳血管疾患	3	1,005	135.8	4	468	132.6	3	537	138.8	3	1021	137.2
肺炎	4	833	112.6	3	479	135.7	4	354	91.5	4	775	104.2
その他の呼吸器系の疾患	5	320	43.2	6	171	48.4	6	149	38.5	5	320	43.0
老衰	6	313	42.3	11	75	21.3	5	238	61.5	7	289	38.8
不慮の事故	7	310	41.9	5	196	55.5	7	114	29.5	6	294	39.5
自殺	8	205	27.7	7	157	44.5	11	48	12.4	8	238	32.0
腎不全	9	173	23.4	9	80	22.7	8	93	24.0	9	154	20.7
慢性閉塞性肺疾患	10	124	16.8	8	101	28.6	20	23	5.9	11	129	17.3

注:平成16年10位は「その他消化器系の疾患」で死亡数133・死亡率17.9である。

男性の10位は「肝疾患」で死亡数78・死亡率22.1である。

女性の9位は「その他消化器系の疾患」で死亡数59・死亡率15.3であり、10位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数54・死亡率14.0である。

③部位別に見た悪性新生物

悪性新生物について死亡数、死亡率を主な部位別に見ると、男性については肺、肝及び大腸が上昇し、胃が下降している。女性については、胃、肺及び大腸が上昇し、肝、乳房及び子宮が下降した。

表 5 悪性新生物の主な部位別死亡数・死亡率（人口 10 万対）の年次推移

部位	S30	40	50	60	H8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
死亡数														
【男性】														
胃	250	314	293	273	263	251	255	252	267	216	243	230	233	230
肺	19	61	82	169	250	281	273	292	299	272	288	282	341	363
肝	54	55	65	121	206	179	194	182	208	182	164	181	179	191
大腸*	23	42	48	79	151	128	155	175	163	138	142	155	139	164
【女性】														
胃	165	179	202	149	159	151	134	138	137	145	153	153	150	152
肺	8	18	32	52	109	94	90	93	98	110	112	91	91	107
肝	37	33	35	55	89	94	80	93	99	85	100	76	96	90
乳房	18	16	25	28	38	48	38	54	43	55	53	56	74	54
子宮	93	71	57	40	38	35	27	34	25	24	31	31	26	21
大腸*	30	44	48	85	123	114	124	133	125	129	125	150	139	150
死亡率														
【男性】														
胃	54.7	79.8	80.0	71.7	71.7	68.6	70.1	69.4	73.7	59.7	67.5	64.2	65.4	65.2
肺	4.2	15.5	22.4	44.4	68.1	76.8	75.0	80.4	82.6	75.1	80.0	78.8	95.8	102.8
肝	11.8	14.0	17.7	31.8	56.1	48.9	53.3	50.1	57.4	50.3	45.6	50.6	50.3	54.1
大腸*	5.0	10.7	13.1	20.7	41.1	35.0	42.6	48.2	45.0	38.1	39.4	43.3	39.0	46.5
【女性】														
胃	34.9	41.8	50.4	35.8	39.8	37.8	33.7	34.8	34.7	36.8	38.9	39.1	38.6	39.3
肺	1.7	4.2	8.0	12.5	27.3	23.6	22.6	23.4	24.8	27.9	28.5	23.3	23.4	27.6
肝	7.8	7.7	8.7	13.2	22.3	23.6	22.6	23.4	25.1	21.6	25.4	19.4	24.7	23.3
乳房	3.8	3.7	6.2	6.7	9.5	12.0	9.5	13.6	10.9	14.0	13.5	14.3	19.0	14.0
子宮	19.7	16.6	14.2	9.6	9.5	8.8	6.8	8.6	6.3	6.1	7.9	7.9	6.7	5.4
大腸*	6.4	10.3	12.0	20.4	30.8	28.6	31.2	33.5	31.7	32.7	31.8	38.4	35.7	38.8

注：大腸の悪性新生物は、結腸と直腸 S 状結腸移行部及び直腸を示す。

ただし、昭和 40 年は十二指腸と小腸を含み、昭和 50 年は肛門を含む。

図 7-1 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口 10 万対）の年次推移（男性）

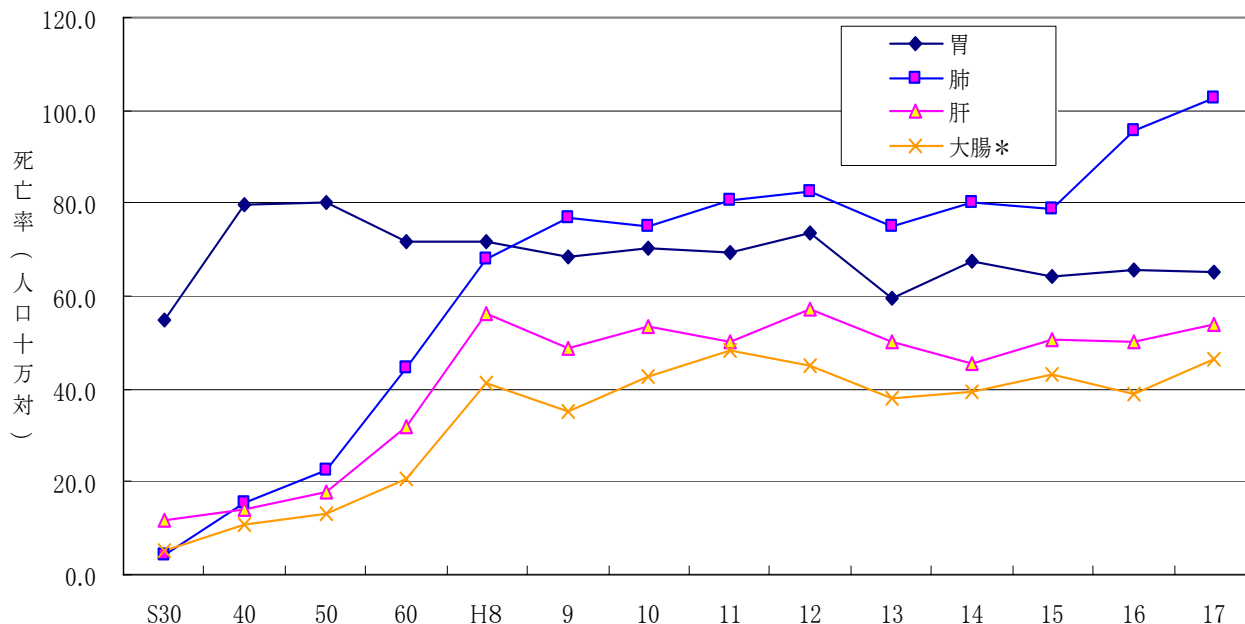


図 7-2 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口 10 万対）の年次推移（女性）

